【　剣　　道　】

１　参加規程

(1)　団体戦　各県男女各２チームとする。　　男子　正員５名（３名以上）補員２名
　　女子　正員５名（３名以上）補員２名

(2)　個人戦　各県代表　　男子　　８名
　　女子　　８名

２　競技規則

(1)　（一財）全日本剣道連盟剣道試合審判規則・細則，並びに当該年度（公財）日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項によって行う。

(2)　団体戦（予選リーグ）順位の判定は勝ち点による。（勝ち：1.0 点，引き分け：0.5 点，負け：０点）同じ勝ち点の場合は勝者数，総本数の順で行う。

(3)　竹刀の検査（計測，計量）を行う。竹刀の長さは，男女とも 114cm（約３尺７寸）以内，重さは男子が 440g 以上，女子は 400g 以上とする。竹刀の先は，男女とも長さ 50mm 以上の先皮を使用し，太さは男子直径 25mm 以上，女子直径 24mm 以上とする。

(4)　不正用具を使用した場合は，試合規則第 19 条－１，２，３を適用する。ただし，決勝トーナメント戦は補員を認める。（団体，個人は別ものとする。）

(5)　補員として申し込みのない者は，選手の位置に入れることはできない。

(6)　オーダーは申し込みの通りで，変更は認めない。

(7)　団体戦では，一度選手として去った者は，再び選手として出場できない。

(8)　服装は剣道着及び袴を着用，たれの前に学校名（横）・姓（縦）をつける。

(9)　「突き技」は禁止とし，反則とすることもある。（技としては反則とする）

(10)　上段の構えはとらせない。隻腕については，その都度協議する。二刀については，使用させない。「片手打ち」は有効打突としない。

(11)　アイガード・ポリカーボネット面及び化学繊維竹刀の使用は認める。

(12)　サポーターなどの使用（足袋・テーピング，コルセットを含む）については，医療上必要と認める場合に限り使用を認める。使用する場合には各試合場主任に届け出たうえで許可を得ること。また，肘や膝などにつける物を足に使用したり，ゴムや革およびすべり止めを底に貼った物の使用は禁止する。届け出と違う物を使用した場合は，替えさせる。指先単独のテーピングについては届け出不要とする。

(13)　監督及び引率者は，出場校の校長・教員とする。

３　競技方法

(1)　団　体　戦

①　４チームずつのＡ・Ｂ２リーグに分けてリーグ戦を行う。

②　各リーグに各県１位チーム２，２位チーム２を含み，同県チームが入らないように抽選する。

③　リーグ戦終了後，Ａリーグの１位チームとＢリーグの２位チーム，Ｂリーグの１位チームとＡリーグの２位チームを組み合わせて，決勝トーナメント戦を行う。

(2)　個人戦の試合は，３分３本勝負，勝敗の決しない場合は，延長を勝敗が決するまで行う。

(3)　団体戦は３本勝負，試合時間は３分とする。ただし，勝敗の決しない場合は，予選リーグにおいて，引き分け，決勝トーナメント戦においては，２分間の延長を行い，勝敗の決しない場合は引き分けとする。

(4)　団体戦（予選リーグ）順位の判定は勝ち点による。（勝ち：1.0 点，引き分け：0.5 点，負け：０点）同じ勝ち点の場合は，勝者数，総本数の順で決定する。すべて同数の場合は，任意の代表者による決定戦を，予選リーグ終了後に行う。この場合は，試合時間３分で１本勝負とする。勝敗の決しない場合は，延長を勝敗が決するまで行う。